

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科（芸術）科目（音楽Ⅰ） 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽Ⅰ 単位数：2単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：依藤 久美子

使用教科書：MOUSA1（教育芸術社）

使用教材：

	指導内容	音楽Ⅰ 具体的な指導目標	配当 時数
4月	ギター演奏	○クラシックギターについて興味をもち、アポヤンド奏法を身に付ける。 ○「きらきら星」などの容易な曲を演奏する。	4
	リズム活動	○4分音符と8分音符の違いを理解し、正しいリズムで演奏する。	1
	楽典	○音符の長さを理解し、楽譜を見て正しいリズムを打つことができる。	1
5月	ギター演奏	○「第三の男のテーマ」の主旋律を演奏する。 ○ギターの弦を押さえることに慣れ、綺麗な音色で演奏する。	4
	リズム活動	○パートに分かれて全員で合わせて演奏する。 ○合わせて演奏したときに、自分のパートをしっかりと保って演奏する。	2
	楽典	○拍子記号について理解し、3拍子や4拍子の違いを知覚・感受することができる。	2
6月	ギター演奏	○「第三の男のテーマ」をグループで3つのパートに分かれて演奏する。 ○グループで合わせたときに、リズムや速度を合わせるように意識して演奏する。	4
	リズム活動	○リズムの特徴を理解し、曲想にふさわしい奏法で演奏する。	3
	楽典	○ト音譜表・ヘ音譜表について理解する。 ○日本語音名や英語音名、ドイツ音名を理解する。	1
7月	歌唱	○基礎的な呼吸法・発声法を理解する。 ○「校歌」の歌詞を覚えて歌う。 ○「ひまわりの約束」の旋律を理解して歌う。	2
	ギター演奏	○「第三の男のテーマ」をグループで3つのパートに分かれ、発表する。 ○他のグループの発表を聴き、感想をまとめる。	1
	楽典	○「校歌」の楽譜を写譜することができる。	1
9月	歌唱	○基礎的な呼吸法・発声法を理解する。 ○合唱曲に取り組み、パートごとに音取りをする。 ○既習曲を歌う。	3
	ピアノ演奏	○姿勢や指使いを学習する。 ○簡単な旋律を演奏する。	2
	楽典	○ヘ音譜表の読み方について復習する。	1
	歌唱	○基礎的・基本的な呼吸法・発声方法を理解する。 ○合唱曲をパートごとに練習し、それぞれのパートのリズム・音程を理解する。	4

月	ピアノ演奏	○短い曲を両手で演奏する。	3
10	楽典	○変化記号について理解する。	1
月	合唱	○指揮や伴奏に合わせて歌うことができる。 ○曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	4
	ピアノ演奏	○課題曲を両手で演奏することができる。	2
11	ハンドベル演奏	○グループで合わせて演奏する。	2
月	合唱	○合唱を録音し、ハーモニーやリズム、音程などに注目しながら聴き、感想をまとめる。	2
	ハンドベル演奏	○グループで合わせて練習し、発表会を行う。 ○自己のグループの演奏を振り返り、他のグループの感想をまとめる。	2
1 月	歌唱	○ミュージカル曲を歌う。 ○既習曲を歌う。	4
	鑑賞	○ミュージカル作品の鑑賞し、作品概要をまとめる。	4
2 月	歌唱	○ミュージカル曲を歌う。 ○既習曲を歌う。	3
	ギター演奏	○フォークギターのストローク奏法を学習する。 ○「カントリー・ロード」で使用するコードを押さえられるように練習する。	3
3 月	歌唱	○歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫しながらミュージカル曲を歌う。 ○既習曲を歌う。	2
	ギター演奏	○「カントリー・ロード」で使用するコードを覚えて演奏する。 ○ストロークをアレンジさせて弾き語りをする。	2

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科（芸術）科目（美術Ⅰ） 年間授業計画

教科：芸術 科目：美術Ⅰ 単位数：2単位

対象学年組：第1学年 1・2・3・5組

教科担当者：関谷 美保子

使用教科書：高校生の美術1（日本文教出版）

使用教材：

	指導内容	美術Ⅰ 具体的な指導目標	配当 時数
4 月	オリエンテーション 鑑賞 模写	○教科書を使用して鑑賞活動を行い美術に対する興味・関心を高める。 ○興味を持った作品をよく観察して模写することで、観察力・表現力を身につける。	4
	幾何形体のデッサン	○幾何形体で形の取り方、影の付け方を学ぶ。	
5 月	鉛筆の使い方 手のデッサン	○鉛筆を立てた描き方、寝かせた描き方を学ぶ。 ○自分の手をよく観察して描く。光の方向を意識して明暗を表現する。	6
6 月	透明水彩	○透明水彩、面相筆、平筆、筆洗等の使い方を学ぶ ○グレース ○ウェットインウェット ○ドライブラシ	8
7 月	透明水彩	○隈取り ○グリザイユ画法	4
9 月	不透明水彩	○ポスターカラーの使い方を学ぶ ○平塗り	6
		○マスキング ○スパッタリング	
月	不透明水彩	○マスキング ○スパッタリング	8
月	模写	○透明水彩または不透明水彩で模写	8
月	模写	○透明水彩または不透明水彩で模写	6
1 月	模写	○透明水彩または不透明水彩で模写	6
2 月	模写	○透明水彩または不透明水彩で模写	6
3 月	模写	○透明水彩または不透明水彩で模写	4

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科（芸術）科目（工芸Ⅰ） 年間授業計画

教科：芸術 科目：工芸Ⅰ 単位数：2単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：松村 世津子

使用教科書：工芸Ⅰ（日本文教出版）

使用教材：

	指導内容	工芸Ⅰ 具体的な指導目標	配当 時数
4月	陶芸	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸用具の名称・使用法を理解する。 ・作業と片付けの流れ、用具の管理を理解する。 ・たたら成形で粘土を締めて、歪まないように成形する。 	4
5月	陶芸	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の水分量による粘土の可塑性の変化を理解し、製作に生かす。 ・線刻と絵付けによる加飾を理解し、効果的に製作に生かす。 	6
6月	陶芸	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に合った加飾を計画する。 ・製作過程を見学し合い、話し合っ技術の向上を目指す。 ・作品を観察、鑑賞し製作計画に生かす。 	6
7月	陶芸	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を相互に鑑賞し合い、創作の喜びを共有し、自信を持つ。 	6
9月	木工（時計制作）	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に作業ができるよう、集中して作業をする。 ・木工用具の名称・使用法を理解する。 	6
月	木工（時計制作）	<ul style="list-style-type: none"> ・時計の機能を理解し、用途に即したデザインをする。 ・マスキングとアクリル塗料による加飾を理解し、美しく仕上げる。 	6
月	木工（時計制作）	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の特性を理解し、用具の使用に習熟して効率的に製作を進める。 ・精度の高い加工を目指す。 	6
月	木工（時計制作）	<ul style="list-style-type: none"> ・ウレタン塗装に習熟し、美しい塗装面に仕上げる。 ・完成した作品を観察、鑑賞し、創作の喜びを味わい、自信を持つ。 	6
1月	パッケージ製作	<ul style="list-style-type: none"> ・仮想の商品のパッケージをデザインし、ケント紙で製作する。 	6
2月	パッケージ製作	<ul style="list-style-type: none"> ・色鉛筆の特性を生かした彩色をする。 ・完成した作品を鑑賞し合い、よいところを発見し合う。 	6
3月	パッケージ製作	<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の著名な工芸作品を鑑賞し、その歴史と良さを理解する。 ・工芸の素材について理解する。 ・機能・用途と美の関係について理解する。 	4

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科（芸術）科目（書道Ⅰ） 年間授業計画

教科：芸術 科目：書道Ⅰ 単位数：2単位

対象学年組：第1学年 1・2・3・5組

教科担当者：大橋 則子

使用教科書：書Ⅰ（光村図書出版）

使用教材：半紙、墨、文鎮、下敷き、筆、新聞紙

	指導内容	書道Ⅰ 具体的な指導目標	配当 時数
4 月	書について ・楷書 「孔子廟堂碑」	・書写から書道へ。 ・用具・用材・書の表現。 ・漢字の書体の変遷。	2
		・書風・特徴を捉える。 ・さまざまな古筆を見て、楷書にも用筆、字形の違いがあることを知る。 ・拓本について理解する。	
		・慮世南について知る。 ・丸みを帯びた伸びやかな払になるように書く。 ・ゆるやかな転折になるようにする。	
5 月	「九成宮醴泉銘」	・欧陽詢について知る。 ・「楷書の極則」とたたえられる背勢を理解する。 ・用筆、字形を理解する。	2
	「雁塔聖教序」	・褚遂良について知る。 ・抑揚を利かせた用筆を理解する。 ・初唐の三大家を知る。	2
	「顔氏家廟碑」	・顔真卿について知る。 ・重厚な運筆や向勢の字形を理解する。 ・「蚕頭燕尾」と呼ばれる用筆を理解する。 ・初唐の四大家を知る。	2
6 月	「牛欄造像記」	・北魏の楷書について理解する。 ・力強い運筆や方形を知る。 ・「鄭義下碑」と比較する。	4
	「鄭義下碑」	・ゆったりとした構えの字形を理解する。 ・点画に丸みを持たせた円勢を理解する。 ・筆力は強くあることを理解する。	2
	臨書作品	・点画や用筆の特徴をとらえて受けた印象を作品に表現してみる。	2
7 月	「隅寺心経」	・写経について知る。 ・空海について知る。 ・1行17字を収め写経体とし、整然とした美しさを追求する。	4
9 月	・行書 「蘭亭序」	・行書の特徴を理解する。 ・筆者について知る。 ・全体を鑑賞し、思いと筆使いを理解する。 ・感情が書に表れていることを知る。	3
		・大筆、小筆でも書き、どちらもよく特色が出るように表現する。	
	「温泉銘」	・筆者太宗について知る。 ・文字の大小、線の太細、書風を理解する。	3
10 月	「争座位文稿」	・三文稿の比較をする。 ・文字の大小、太細、抑揚の変化を理解する。	2
	「蜀素帖」	・筆者米芾について知る。 ・やや左に傾けた字形、強弱をつけた筆圧が書けるようにする。 ・宋の四大家を知る。	2
	「風信帖」	・空海は二王をベースに書かれていることを知る。 ・平安時代の書道史の概要を知る。	2

	真草千字文	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の情景を楽しむ。 ・正方形に近い字形で、滑らかな運筆に近づけるようにする。 	2
月	隷書 〔曹全碑〕	<ul style="list-style-type: none"> ・隷書の基本点画、収筆、波磔、が書けるようになる。 ・伸びやかな波磔が理解できる。 	3
	篆書 〔泰山刻石〕	<ul style="list-style-type: none"> ・均整のとれた威厳のある篆書を理解する。 ・篆書の用筆、運筆を知る。 	3
月	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名 ・仮名の基本 ・いろは 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名はどのように書かれてきたかを理解する。 ・古筆を鑑賞する。 ・仮名の基本線を理解する。 	3
	<ul style="list-style-type: none"> ・変体仮名 	<ul style="list-style-type: none"> ・変体仮名について理解する。 ・表現の変化や調和の効果をもたらす役割を知る。 	3
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・連綿 〔蓬来切〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・形連と意連について理解する。 ・組み合わせることによる流動美を理解する。 	2
	〔粘葉本和漢朗詠集〕	<ul style="list-style-type: none"> ・「切」と「伝」について理解する。 ・リズムカルな美しい連綿を理解する。 	2
	〔高野切第三種〕	<ul style="list-style-type: none"> ・端正な字形と流れの美しさを味わう。 ・一、二、三種を比較して作者が異なることを知る。 ・書式について知る。 ・墨つぎまで慣れる。 	2
2月	〔関戸本古今和歌集〕	<ul style="list-style-type: none"> ・筆圧の変化に富んだ躍動的な表現を理解する。 	2
	〔元永本古今和歌集〕	<ul style="list-style-type: none"> ・直線的な運筆の特徴が表せるようになる。 	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・散らし書き 〔寸松庵色紙〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・散らし書きの表現方法、構成美を理解する。 ・単体と連綿の組み合わせによるリズムを理解する。 	2
3月	〔升色紙〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりとした連綿、行と行を絡めた構成が書けるようになる。 	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・創作 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の創作をする。 ・歌を決め、文字を集字し構成する。 ・構成を生かし、下書きし練習し、仕上げる。 	2

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科（芸術）科目（音楽Ⅱ） 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第2学年 2組～6組

教科担当者：依藤 久美子

使用教科書：MOUSA2（教育芸術社）

使用教材：

	指導内容	音楽Ⅱ 具体的な指導目標	配当 時数
4 月	ボディー・パーカッション	○音符の長さを復習し、簡単なリズム打ちをすることができる。 ○4分音符と8分音符の長さの違いを意識し、リズム打ちをすることができる。	2
	ピアノ演奏	○ピアノの鍵盤の位置を把握し、正しい姿勢で演奏することができる。 ○指使いを確認し、右手の旋律を弾くことができる。	2
	楽典	○ヘ音譜表の読み方を復習し、楽譜に音名を記入することができる。 ○変化記号の復習をし、変化記号が付いたときにどの鍵盤を弾くのか理解することができる。	2
5 月	ボディー・パーカッション	○グループ内で2つのパートに分かれ、合わせて演奏することができる。	4
	ピアノ演奏	○課題曲を両手で演奏できるようになる。	3
	楽典	○調号と拍子を復習し、何拍子の曲かを楽譜を見て判断することができる。 ○調号と変化記号の意味を理解する。	1
6 月	歌唱	○発声練習に取り組み、伸びのある声で歌うことができる。 ○「楓」の音取りをして、旋律を歌うことができる。	3
	ボディー・パーカッション	○曲想を感じ取り、強弱記号や速度を工夫して演奏することができる。	2
	ピアノ演奏	○課題曲を両手で演奏することができるようになる。 ○フレーズを意識して旋律をつなげて演奏することができる。	3
7 月	歌唱	○発声練習に取り組み、伸びのある声で歌うことができる。 ○「楓」をパートに分かれて歌うことができる。	2
	ボディー・パーカッション	○グループごとに演奏方法を工夫し、発表を行うことができる。	1
	鑑賞	○オペラの演奏について成立背景を理解する。 ○曲を鑑賞し、物語の場面や社会背景なども踏まえて、曲の構成を考えることができる。	1
9 月	歌唱	○発声練習をして、伸びのある声で歌うことができる。 ○合唱曲の音取りをして、自分のパートの旋律を歌うことができる。	3
	グループアンサンブル	○グループごとに演奏曲を決め、パートを割り振りすることができる。 ○個人練習をして、各パートの音取りをすることができる。	3
月	歌唱	○発声練習をして、伸びのある声で歌うことができる。 ○パートごとに練習を重ね、2パートで合わせて歌うことができる。	4
	グループアンサンブル	○個人練習をして、各パートの音取りをすることができる。 ○曲の前半部分をグループで合わせて演奏することができる。	4

月	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ○発声練習をして、伸びのある声で歌うことができる。 ○パートごとに練習を重ね、伴奏に合わせて歌うことができる。 	4
	グループアンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> ○できるところまで発表し、自己のグループの演奏を振り返り、課題を見つけることができる。 ○グループの課題を把握し、練習方法を振り返り、改善することができる。 	4
月	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ○指揮や伴奏に合わせて練習し、全体の音量のバランスを意識して歌うことができる。 ○曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。 	2
	グループアンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> ○演奏会に向け、演奏会運営に必要な役割と仕事を把握する。 ○グループで練習を重ね、演奏会を開くことができる。 	2
1月	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ○校歌を二部合唱することができる。 ○言葉の発音を意識して、外国語の歌曲を歌うことができる。 	4
	ギター演奏	<ul style="list-style-type: none"> ○ストローク奏法を身に付けることができる。 ○コードダイヤグラムの読み方を理解する。 	4
2月	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ○校歌を二部合唱することができる。 ○フェイクを入れて「Amazing Grace」を歌うことができる。 	4
	ギター演奏	<ul style="list-style-type: none"> ○「明日があるさ」をストローク奏法で演奏することができる。 	4
3月	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ○校歌を二部合唱することができる。 ○フェイクを入れて「Amazing Grace」を歌うことができる。 ○曲の背景を理解して、表情豊かに「Amazing Grace」を歌うことができる。 	2
	ギター演奏	<ul style="list-style-type: none"> ○「明日があるさ」を弾き語りすることができる。 	2

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科（芸術）科目（美術Ⅱ） 年間授業計画

教科：芸術 科目：美術Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第2学年 1組・3組～6組

教科担当者：関谷 美保子

使用教科書：高校生の美術2（日本文教出版）

使用教材：

	指導内容	美術Ⅱ 具体的な指導目標	配当 時数
4 月	オリエンテーション 鑑賞	○教科書を使用して鑑賞活動を行い美術に対する興味・関心を高める。	2
	透明水彩	○透明水彩の濃淡の作り方、筆の使い方を学ぶ。	2
5 月	透明水彩	○透明水彩の濃淡の作り方、筆の使い方を学ぶ。	4
	校内外写生	○透明水彩で学校内、屋外を写生する。	4
6 月	校内外写生	○透明水彩で学校内、屋外を写生する。	8
7 月	校内外写生	○透明水彩で学校内、屋外を写生する。	4
9 月	レタリング	○レタリングで文字デザインの方法を学ぶ	4
	不透明水彩	○不透明水彩、面相筆、平筆、筆洗等の使い方を学ぶ	4
月	文化祭ポスター	○透明水彩または不透明水彩で文化祭のポスターを制作する。	8
月	文化祭ポスター	○透明水彩または不透明水彩で文化祭のポスターを制作する。	8
月	文化祭ポスター	○透明水彩または不透明水彩で文化祭のポスターを制作する。	4
1 月	自由制作	透明水彩または不透明水彩で自由なテーマで制作する	8
2 月	自由制作	透明水彩または不透明水彩で自由なテーマで制作する	6
3 月	自由制作	透明水彩または不透明水彩で自由なテーマで制作する	4

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科（芸術）科目（工芸Ⅱ） 年間授業計画

教科：芸術 科目：工芸Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：松村 世津子

使用教科書：工芸Ⅱ（日本文教出版）

使用教材：

	指導内容	科目工芸Ⅱ 具体的な指導目標	配当 時数
4月	室内の設計	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の機能を考えて、必要なものを配置し、設計する。 ・個性や好みを生かし、楽しく設計する。 ・機能・用途の面での工夫を考える。 	4
		<ul style="list-style-type: none"> ・カタログなどを参考に家具をデザインし、ケント紙で1/20の模型を製作する。 ・正確に展開図を作図をする。 ・美しく彩色する。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・きれいに接着し、組み立てる。 ・個性や好みを生かし、楽しく製作する。 ・完成した作品を相互に鑑賞し合い、創作の喜びを分かち合う。 	
5月	室内の設計	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の機能を考えて、必要なものを配置し、設計する。 ・個性や好みを生かし、楽しく設計する。 ・機能・用途の面での工夫を考える。 	6
		<ul style="list-style-type: none"> ・カタログなどを参考に家具をデザインし、ケント紙で1/20の模型を製作する。 ・正確に展開図を作図をする。 ・美しく彩色する。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・きれいに接着し、組み立てる。 ・個性や好みを生かし、楽しく製作する。 ・完成した作品を相互に鑑賞し合い、創作の喜びを分かち合う。 	
6月	室内の設計	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の機能を考えて、必要なものを配置し、設計する。 ・個性や好みを生かし、楽しく設計する。 ・機能・用途の面での工夫を考える。 	8
		<ul style="list-style-type: none"> ・カタログなどを参考に家具をデザインし、ケント紙で1/20の模型を製作する。 ・正確に展開図を作図をする。 ・美しく彩色する。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・きれいに接着し、組み立てる。 ・個性や好みを生かし、楽しく製作する。 ・完成した作品を相互に鑑賞し合い、創作の喜びを分かち合う。 	
7月	室内の設計	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の機能を考えて、必要なものを配置し、設計する。 ・個性や好みを生かし、楽しく設計する。 ・機能・用途の面での工夫を考える。 	4
		<ul style="list-style-type: none"> ・カタログなどを参考に家具をデザインし、ケント紙で1/20の模型を製作する。 ・正確に展開図を作図をする。 ・美しく彩色する。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・きれいに接着し、組み立てる。 ・個性や好みを生かし、楽しく製作する。 ・完成した作品を相互に鑑賞し合い、創作の喜びを分かち合う。 	
9月	木工（収納制作）	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に作業ができるよう、集中して作業をする。 ・木工用具の名称・使用法を理解し、精度の高い加工を目指す。 	6
月	木工（収納制作）	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に作業ができるよう、集中して作業をする。 ・木工用具の名称・使用法を理解し、精度の高い加工を目指す。 	8
月	木工（収納制作）	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に作業ができるよう、集中して作業をする。 ・木工用具の名称・使用法を理解し、精度の高い加工を目指す。 	8
月	木工（収納制作）	<ul style="list-style-type: none"> ・個性と好みを生かした装飾を計画する。 ・マスキングによるアクリル彩色技法を理解し、美しく仕上げる 	4

1 月	木工（収納制作）	<ul style="list-style-type: none"> ・ウレタン塗装に習熟し、美しい塗装面に仕上げる。 ・完成した作品を観察、鑑賞し、創作の喜びを味わい、自信を持つ。 	8
2 月	エコクラフト	<ul style="list-style-type: none"> ・個性や好たデザインをし、手仕事の楽しさを味わいながら製作する。 ・完成した作品を観察、鑑賞し、創作の喜びを味わい、自信を持つ。 	6
3 月	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の著名な工芸作品を鑑賞し、その歴史と良さを理解する。 ・工芸の素材について理解する。 ・機能・用途と美の関係について理解する。 	4

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科（芸術）科目（書道Ⅱ） 年間授業計画

教科：芸術 科目：書道Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第2学年 3組～6組

教科担当者：大橋 則子

使用教科書：書Ⅱ（教育図書）

使用教材：半紙、墨、文鎮、下敷き、筆、新聞紙

	指導内容	書道Ⅱ 具体的な指導目標	配当 時数
4 月	・書と文化 書の周辺の文化の歴史	・書の歴史の全体の流れを理解する。 ・日常の書を意識する。	2
	・漢字の書 篆書 「泰山刻石」	・甲骨文、金文の特徴を理解する。 ・篆書の基本点画や線質の表し方を学ぶ。 ・始皇帝について知る。	2
5 月	「石鼓文」	・大篆と小篆を比較して見る。 ・大篆の点画や線質について学ぶ。（小篆と比較） ・篆書の筆使いに慣れる。	3
	・篆刻	・印の歴史と用途を理解する。 ・「印稿」を作る。 ・字典で文字を正確に調べる。	3
		・調べた字と全体の構成を工夫する。 ・「布字」 印面に印稿と同じように書く。 ・「連刀」「押印」「仕上げ」 ・隷書の変遷を学ぶ。	
6 月	・隷書 「曹全碑」	・隷書の基本点画が書ける。 ・のびのびとした八分になる。 ・飄々としながらも力強い線になるようにする。	4
	「乙瑛碑」	・漢、清の隷書と比較する。 ・厚みのある波磔を捉える。 ・字形は背勢で引き締まった感じ。	2
	「石門頌」	・線の太さがほぼ一定で曲線が多い。 ・波勢のリズムによって細いまま払い出す。	2
7 月	「居延漢簡」	・筆鋒の開閉が自在で細太の変化を知る。 ・ゆったりした波磔や表情のおおらかさを表す。 ・早速きによる自然な表現。	2
	・創作	・半切作品を制作する。 ・隷書の表現を生かす。 ・作品の形式について学ぶ。	2
9 月	・草書 「十七帖」	・草書の成立を理解する。 ・草書の基本的用筆、運筆を理解する。 ・単体で字を覚える。 ・字形は頭部を大きく、脚部を右に移動させてバランスを取る。	2
	「書譜」	・変化に富んだ線、格調の高さを理解する。 ・臨書や鑑賞に取り組む。 ・書論の内容を知る。	2
	「自叙帖」	・狂草とも呼ばれる奔放な表現ができる。	2
10 月	「風信帖」 （忽患帖）	・日本の書について ・王羲之の流れを理解する。 ・三筆について理解する。	2
	・行書 「集王聖教序」	・行書のさまざまな作品を鑑賞する。 ・行書の特徴を理解する。 ・行書の用筆、運筆を理解する。	2
	「温泉銘」	・表現方法に関心を持って、のびのびと抑揚のある線にする。	2

	「祭姪文稿」	<ul style="list-style-type: none"> ・草稿であるために感情を汲み取る。 ・筆画に重厚で力強さを強調する。 	2
11月	「黄州寒食詩巻跋」	<ul style="list-style-type: none"> ・宋の四大家について知る。 ・本文の文字がもともと大きいので表現のしやすさが分かる。 	2
	「伊都内親王願文」	<ul style="list-style-type: none"> ・三跡と比較して相違点を考える。 ・祈願状について知る。 	2
	「屏風土代」	<ul style="list-style-type: none"> ・草稿であるための構想を理解する。 ・大きく端正な字形を重厚な線質になるようにする。 	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書 「孟法師碑」	<ul style="list-style-type: none"> ・書風の特徴を理解する。 ・「雁塔聖教序」と比較する。 	2
12月	「真草千字文」	<ul style="list-style-type: none"> ・抑揚のある筆使いができるようにする。 ・表現技法に関心を持つ。 	2
	「張猛龍碑」	<ul style="list-style-type: none"> ・北魏の楷書の特徴を捉える。 ・用筆、運筆を理解する。 	1
	「始平公造像記」	<ul style="list-style-type: none"> ・鋭く角張った線が書けるようになる。 ・陽刻について理解する。 	1
1月	「さん宝子碑」	<ul style="list-style-type: none"> ・書法に隸書があり過渡期であることを知る。 	2
	「薦季直表」	<ul style="list-style-type: none"> ・鍾繇と王羲之は楷書の進展に大きく貢献したことを知る。 ・王羲之と比較して暖かみのある楷書になるよう表現してみる。 	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名 「高野切第一種」	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の変遷を理解する。 ・字形の特徴を理解する。 ・書かれた時代や背景を理解する。 ・端正で自然な墨継ぎができるようにする。 	2
2月	「高野切第一種」	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の流れや気品の良さを感じる。 ・墨継ぎが明快で美しい。 	4
	「関戸本古今和歌集」	<ul style="list-style-type: none"> ・線質や字形の特徴を理解する。 ・書かれた背景や内容を知る。 ・書風を生かした表現を工夫する。 	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・散らし書き 「寸松庵色紙」	<ul style="list-style-type: none"> ・散らし書きの表現技法を理解する。 ・全体の構成を工夫する。 	2
3月	「継色紙」	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人の美意識を理解する。(紙面構成) ・個性的な表現について考える。 ・運筆の遅速の変化・筆圧の強弱・墨量の変化。 	2
	・創作	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の構成を工夫し、完成する。 	2

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科（芸術）科目（音楽Ⅲ） 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽Ⅲ 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：依藤 久美子

使用教科書：音楽Ⅲ改訂版（教育出版）

使用教材：

	指導内容	音楽Ⅲ 具体的な指導目標	配当 時数
4 月	歌唱	○「いのちの名前」の旋律を歌うことができる。	2
	ピアノ演奏	○「マリーゴールド」の右手を弾くことができる。 ○コードネームからバスの音を考えて演奏することができる。	2
	楽典	○英語音名を理解する。 ○コードネームから、和音の根音を考えることができる。	2
5 月	歌唱	○「いのちの名前」のアルトパートを歌うことができる。 ○「いのちの名前」を2つのパートに分かれて合わせて歌うことができる。	2
	ピアノ演奏	○「マリーゴールド」を両手で弾くことができる。	2
	楽典	○コードネームから、和音の構成音を考えることができる。	2
6 月	歌唱	○「いのちの名前」を2つのパートに分かれて合わせて歌うことができる。 ○曲想にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。	4
	ピアノ演奏	○「マリーゴールド」を弾き歌いすることができる。 ○「マリーゴールド」の伴奏をアレンジして演奏することができる。	4
7 月	歌唱	○「いのちの名前」を2つのパートに分かれて合わせて歌うことができる。 ○曲想にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。	2
	ピアノ演奏	○「マリーゴールド」を弾き歌いすることができる。 ○「マリーゴールド」の伴奏をアレンジして演奏することができる。 ○実技テストを行い、自己の成果や課題を振り返る。	2
9 月	卒業コンサート	○卒業コンサートで演奏する曲を決め、パートを割り振ることができる。 ○それぞれのパートの音取りをすることができる。	3
	歌唱	○合唱曲の音取りをする。	3
月	卒業コンサート	○グループごとに練習を進め、合わせて演奏することができる。 ○コンサートに向け、機材の準備やプログラム作成などの役割を分担し、各自の作業を進める。	4
	歌唱	○指揮や伴奏に合わせて歌う。 ○曲の雰囲気を感じ取り、強弱や速度を工夫しながら歌うことができる。	4
月	卒業コンサート	○本番を想定して、音響や照明を工夫しながら演奏する。 ○コンサートに向け、機材の準備やプログラム作成などの役割を分担し、各自の作業を進める。	4
	歌唱	○指揮や伴奏に合わせて歌う。 ○曲の雰囲気を感じ取り、強弱や速度を工夫しながら歌うことができる。	4

月	卒業コンサート	<ul style="list-style-type: none"> ○司会や音響、照明などの係を分担し、コンサートを運営することができる。 ○他の人の演奏を鑑賞したり、自己の演奏を振り返ったりして、感想をまとめる。 	2
	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ○指揮や伴奏に合わせて歌う。 ○曲の雰囲気を感じ取り、強弱や速度を工夫しながら歌うことができる。 	2
1月	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業式歌を強弱などの表現を工夫し、表情豊かに歌うことができる。 ○校歌を4部合唱することができる。 	4

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科（芸術）科目（美術Ⅲ） 年間授業計画

教科：芸術 科目：美術Ⅲ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：関谷

使用教科書：高校生の美術3（日本文教出版）

使用教材：

	指導内容	美術Ⅲ 具体的な指導目標	配当 時数
4 月	オリエンテーション 鑑賞	○教科書を使用して鑑賞活動を行い美術に対する興味・関心を高める。	2
	色鉛筆画	○色鉛筆で写真のように描写する。	2
5 月	色鉛筆画	○色鉛筆で写真のように描写する。	6
6 月	色鉛筆画	○色鉛筆で写真のように描写する。	8
7 月	色鉛筆画	○色鉛筆で写真のように描写する。	2
9 月	自由課題	○興味・関心のある分野の課題を各自で自由に設定し、制作する。	6
月	自由課題	○興味・関心のある分野の課題を各自で自由に設定し、制作する。	8
月	自由課題	○興味・関心のある分野の課題を各自で自由に設定し、制作する。	8
月	自由課題	○興味・関心のある分野の課題を各自で自由に設定し、制作する。	4
1 月	自由課題	○興味・関心のある分野の課題を各自で自由に設定し、制作する。	4

東京都立久留米西高等学校 令和3年度 教科（芸術）科目（書道Ⅰ） 年間授業計画

教科：芸術 科目：書道Ⅰ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：大橋 則子

使用教科書：書道Ⅰ（光村図書）

使用教材：「高校の硬筆練習」、ボールペン、万年筆、つけペン、シャープペン、サインペン

	指導内容	書道Ⅰ 具体的な指導目標	配当 時数
4 月	日本の伝統文	<ul style="list-style-type: none"> ・文字文化への関心を持つ ・日本固有の文字、仮名の美しさを知る ・書写用具について知る 	2
	楷書学習 基本点描の書き方 筆順と点描	<ul style="list-style-type: none"> ・基本要素を確実に身につける ・筆順の原則を知る ・長い歴史のなかで、徐々にできあがった形態と関連つけて考える 	2
		<ul style="list-style-type: none"> ・旧字体と書写体を知る 	
5 月	部首と部分と文字の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・共通する部分や部首を見つける ・漢字の基本的な構成方法について考える 	2
	文字を整えて書く	<ul style="list-style-type: none"> ・接し方・点描の配置を理解する ・微妙な調和が必要な字に慣れる 	2
	点描の変化と字体	<ul style="list-style-type: none"> ・許容される字体について考える ・長短・方向・曲線など柔軟に考えられるようになる 	2
6 月	行書の学習 基本点描の描き方	<ul style="list-style-type: none"> ・書体の変遷について考える ・行書の特徴について理解する ・基本点描を覚えるようにする 	2
	点描の連続、省略	<ul style="list-style-type: none"> ・字形的に類似するものを知る ・字形を正しく認識する 	2
	部首・部分と文字の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・行書らしい柔軟で全体が流れるようなリズムになるように努力する 	2
	筆順の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・筆順の変化は連筆の合理化と関連することを理解する ・字例を理解して活用できるようにする 	2
7 月	草書の学習 基本点画	<ul style="list-style-type: none"> ・草書の成立について知る ・単なる早書き、走り書きにならないように注意する ・読めるようにする 	4
		<ul style="list-style-type: none"> ・書体や字形の原理をつかむ ・2字、4字熟語として読めるようにする 	
9 月	部首・部分の書き方と文字の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・部首と部分、部分と部分の接続、連続に注意する 	6
10 月	類似する字形	<ul style="list-style-type: none"> ・書体の字形・原理をつかみ読み取る力をつける ・文章が読める 	4
	仮名の学習 平仮名、片仮名の字源	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立を知る ・図版を通して美しさにふれる ・字源を覚える 	2
	楷書に調和する仮名 行書に調和する仮名	<ul style="list-style-type: none"> ・曲線の特徴をとらえられるようにする ・漢字と調和するための工夫をする 	2

11月	片仮名 変体仮名	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の簡略化について考える ・変体仮名の由来や表現効果を理解する 	2
	連綿の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・連続する文字間の「筆意」や「筆脈」が通るようになる 	2
	漢字仮名交じり文 楷書	<ul style="list-style-type: none"> ・日常表記を意識する ・目的・用途に合わせて調和よく書く ・横書き・縦書きの特徴 ・よく使われる言葉を練習する 	2
	漢字・仮名交じり文 行書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書体に仮名を調和させることができるように努力する ・横書き、縦書きができるようになる 	2
12月	はがきの表書き 封筒の書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・縦書き 横書き ・楷書、行書で書けるようになる 	2
	手紙	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙の効用を再確認する ・形成について知る 	2
1月	生活に生かす	<ul style="list-style-type: none"> ・のし袋、うちわ、短冊、色紙などに自らの書を生かせる喜びを味わう 	2
	書を贈る	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちや思いを伝えることができる 	2